

リサーチ & プランニング 第6回 知識インタラクションと発想技術

デジタルハリウッド大学

橋本大也

本日の内容

- リサーチ & プランニングで大切なのは発想が豊かなこと
- アイデアを生み出し続けるにはどのような方法があるか、を知る。
- アイデアを20万件以上発想し記録した世界で唯一の達人からノウハウを学ぶ

本日の構成

- イン트로ダクション 15分
- 樋口先生、川井先生の講演 60分
- 質疑応答とまとめ 15分

インタラクションから 発想を生む技術

- 本日の特別な講師 樋口健夫先生
 - アイデアマラソン実践編 川井拓也先生
- 「アイデアマラソン発想法」創始者
- Welcome to the Official Website of Idea Marathon System
 - <http://www.idea-marathon.net/>

樋口先生の略歴

- 1946年(昭和21年)京都生まれ
1971年三井物産株式会社入社
- アフリカ・ナイジェリア・ラゴス事務所(3年間)
中近東・サウジアラビア・リヤド事務所8年半)
ベトナム・ハノイ事務所(2年間)
東京通信ネットワーク出向を経て、2000年から三井物産ネパール・カトマンドゥ事務所長(4年半)
2004年6月帰国し、同年8月末に三井物産を定年退職。

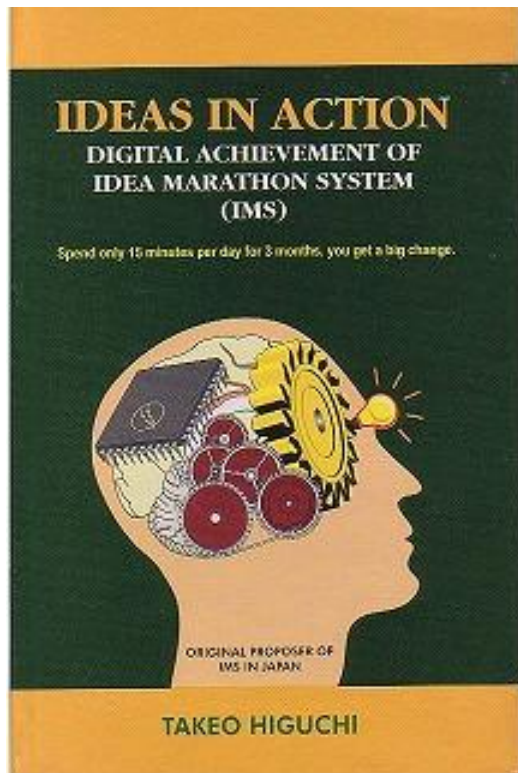
アイデアマラソンの本



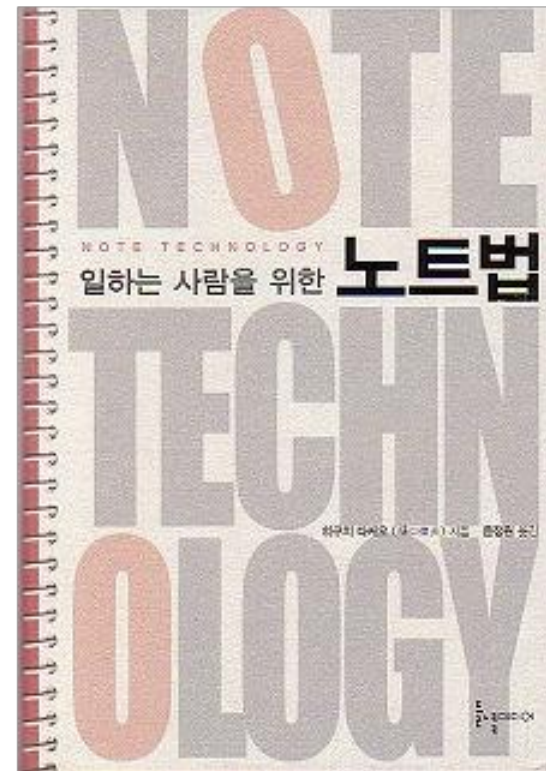
このほか樋口先生の著書は数十冊出版されている

1985年	「海外生活百科」
1986年	「住んでみたサウジアラビア」
1987年	「商社マンがゆく」* (学生社)
1988年	「海外生活の危機管理」* (実業之日本社) 妻との共著
1989年	「商社マンの冒険グルメ」(学生社) 妻との共著
1990年	「海外家庭教育」* (サイマル出版会) 妻との共著
1990年	「多極化する世界経済と日本」* (晃洋書房/現代アフリカ経済事情) (他の執筆者との共著)
1991年	「商社マンのビジネス冒険」(学生社)
1991年	「この人たちはなぜ成功したのか」* (訳書/ダイヤモンド社)
1992年	「アイデア発想が湧き出る本」ダイヤモンド社
1993年	「海外危険回避マニュアル」* (PHP社)
1993年	「商社マンになるには」(ペリかん社)
1994年	「海外生活事典」* (実業之日本社)
1995年	「アイデアマラソン発想法」* (東洋経済新報社)
1996年	「海外駐在マニュアル」(英語教育協会)
1998年	「マラソンシステム」(日経BP)
1999年	「ベトナムの微笑み」(平凡社)
2000年	「父親だからできる 子育てマネジメント」東洋経済新報社
2001年	「Idea In Action- Idea-Marathon System(IMS)」
2001年	「さえてるお父さんを育てるとっておきの方法」(平凡社)
2003年	「仕事ができる人のノート術」(東洋経済新報社)
2003年	「父親だからできる子育てマネジメント」韓国語版(生活中央社)
2003年	「アイデアマラソン発想法」タイ語版(SE-ED社)
2004年	「企画がスラスラ湧いてくるアイデアマラソン発想法」(日経ビジネス人文庫)
2004年	「仕事ができる人のノート術」(韓国版出版)
2004年	「思いつきをビジネスに変えるノート術」(PHP研究所)
2004年	最新刊「稼ぐ人になるアイデアマラソン仕事術」(日科技連出版社)
2004年	「Idea in Action Idea-Marathon」ヒンディー語出版 Adarsh社

海外でも翻訳されている



英語版



韓国語版

アイデアマラソンって何？

- 「発想の分野を限定しないで、個人が考えたものを、即時、できるだけ早く、できるだけ短く、ノートやパソコンデータに記録し、周りに話をする」発想システムです。

– IMS公式Webサイトより引用



講演：アイデアマラソン

- 樋口先生よろしくお願ひします。

本日のまとめ

1 数が質と価値を生み出す

- 際立ったアイデアは1000に3つの法則
- 毎日、3年続けると1000件。
- たいていは1000件あると、宝石が含まれていたり、集積の価値が出てくる。

2 考え続けることが革新を生む

- 教室や会議室の外でも考え続ける
- 孵化寸前のテーマを多数抱えている状態が重要
- 普通は飽きてしまう。人との対話、ツールの活用、生活習慣化により発想プロセスを持続的な楽しいものにする。IMSのノウハウ。

3 「時間がない」は理由にならない

- 隙間時間を見つけて発想する習慣が大切
- 「企画の仕事は忙しい人に頼め」が常識
- たくさん仕事をしているからたくさん発想できるサイクル

4 ITの活用でIMS発展

パソコンやインターネットを活用してアイデアマラソンを加速させることができる。

フリーディスカッション

- アイデアマラソンに使えるソフトウェアは？
 - 前回講義のナレッジベースのソフトウェア
 - Wiki、Blog、紙COPI、OneNote...他には？
- 樋口先生に自由に質問